

【 第2回中標津町自治推進会議報告 】

日 時：令和4年12月20日（火）19:00～20:40

場 所：中標津町役場 3階 301会議室

出席者：12名（中標津町自治推進会議委員7名、ファシリテーター1名、オブザーバー1名、事務局3名、別紙出欠名簿参照）

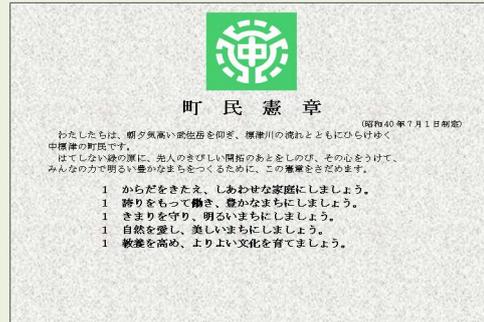
傍聴者：4名（別紙傍聴者名簿参照）

<会議次第>

※開催前に委嘱状交付

- 1 開 会
- 2 会 長 挨 拶
- 3 委員・事務局紹介
- 4 議 題

町民憲章 唱和



- (1) 委嘱期間中に組織の役が外れた場合について
- (2) 漫画制作について
- (3) 学生（高校生）の参加について
- (4) 中標津町の町民ファシリテーター登録制度について
- (5) 町民ファシリテーターのお試し参加について
- (6) その他（1）自治推進会議規則・ルールについて

5 閉 会

<配付資料>

- ① 中標津町自治推進会議名簿
- ② 資料1-1：【参考】掛川市自治基本条例（解説版）〔省略〕
- ③ 資料1-2：【参考】自治さんと学ぶ、自治基本条例講座〔省略〕
- ④ 資料2-1：中標津町でこれまで実施してきた「対話による協働のまちづくり」の
取り組み
- ⑤ 資料2-2：(4) 中標津町の町民ファシリテーター制度について
(5) 町民ファシリテーターのお試し参加について

<会議結果報告>

※委嘱状交付

事務局

開会に先立ちまして、今回、新たに委員となります箱石様に板橋総務部長から委嘱状を交付いたします。

1 開会



2 会長挨拶

3 委員・事務局紹介

事務局

今回から会議にオブザーバーの出席を依頼している経済部経済振興課主幹の神原（かんばら）さんの紹介。

神原さんは北海道の職員で中標津町役場に派遣職員として、現在、経済部経済振興課主幹として活躍している。

神原さんは、かつて北海道職員として勤務するかたわら、北海道大学公共政策大学院の社会人枠で住民自治を専攻し修了した。

この関係で、大学院修了後も「公共政策研究所」という自治/議会基本条例の普及や、同条例を活用した市民/議会活動の推進を支援することを目的として設立された団体の研究員として在籍しており、道内市町村の自治基本条例制定に関与した経歴も有している。

その貴重な知識・経験を中標津町自治推進会議に活かしていただければとの思いからオブザーバーという立場で、出席を依頼しまして承諾いただいた。

オブザーバーは、会議において積極的な発言が許されるアドバイザーとは異なり、会議を進める中で、専門的な知識が必要な時や会議が行き詰った時など、進行役から意見を求められた時に、助言をしていただくという役目である。

4 議題

[進行：東田ファシリテーター]



※町民憲章唱和

※東田ファシリテーターから、傍聴人の方たちは全員N-CANのファシリテーター登録された方であることに鑑み、関連性の深い議題『(4) 中標津町の町民ファシリテーター登録制度について』と『(5) 町民ファシリテーターのお試し参加について』については、傍聴人からも意見を求めることについて会議の承諾を得たい旨提案があり、全会一致で承諾された。

(1) 委嘱期間中に組織の役が外れた場合について

事務局

事務局としては、前回の自治推進会議と同様、当初あて職で選出された場合であっても委員として5年間勤めていただきたいと考えていた。

しかし、再選する時、各団体にそのことが浸透しておらず、今回については前任者の個人的な都合についても考慮した中標津町商工会からのたつてのお願いという形で依頼があったため、これを受け入れたという経緯があった。

東田ファシリテーター

自治推進会議として公式に決めることはできませんが、任意のお願いとして特に大変な事情がない限り、是非とも5年間勤めていただきたい。

(3) 学生（高校生）の参加について ※(2)と(3)の検討順番を変更

委員

大地みらい信金主催の「No Maps」で高校生の発表の場に出ていた16歳から18歳までの高校生全員に話を聞いてみたい。

委員

町内の高校だけでなく、町内から近隣の町の高校に通っている高校生、町内を離れ釧路や札幌の高校に通っている高校生など、色々な高校生に「どうして都会に行きたいのか」などを聞いてみたい。

委員

中標津町の好きな点、嫌いな点、また長所、短所、「こうなって欲しい」「自分のしたいことができる町と思うか」などを聞いてみたい。

委員

高校生にとっては、抽象的な質問では答えにくそうなので、質問の仕方を絞った方がよいのでは。また、平日の夜は無理だと思うので、日程や時間帯を考えないといけない。

東田ファシリテーター

高校生から話を聞くだけであれば、それはヒアリングであり、こちらから何かを伝えるものがなければ意見交換とならない。それでは、こちらから何を伝えるのか。

委員

高校生と話して話題になるのは、「Round 1のような施設があればいい」というような話であるが、それに対し我々はどう答えていくのか。それがなければ、ただ話を聞いただけで終わってしまう。

例えば計根別では、都市マスで高校生と懇談会をしている。高校生からは、学校で色々なものを作っているが、それらを売るアンテナショップが欲しいという意見が出された。コロナ禍の関係もあり、停滞しているが今後地域として要請していかなければならない。

また、景観づくりとしてカボチャランタン作成の取組は5、6年目を迎え、農業高校と計根別学園、計根別幼稚園も加え収穫までを一緒に行っている。そのような取り組みを継続して、色々なことを取り込んでいこうとしているが、それでも完全に定着したとは言えない。

東田ファシリテーター

それでは、NoMapsについてどのように進めたのかについて、また地元開催ならそれに我々が便乗して参加できるものなのかについて、主催者である大地みらい信金の担当者に聞いてくるというのはどうか。

<※誰が担当するか、どのようなことを聞くかについて検討>

東田ファシリテーター

次回までに、鳴海委員がNoMapsに事情を聴いてくる。また、高校生に聞こうとする質問内容については、皆さんで次回の3月まで考えてくること。

(2) 漫画制作について ※(2)と(3)の検討順番を変更

委員

漫画の案は、自治基本条例・自治推進会議を若い人に浸透させるためには、解説書を漫画にするのはどうかと思った。

資料は、前回私が紹介した掛川市の解説書と事務局で用意した奈良県広陵町の「自治さんと学ぶ、自治基本条例講座」、そして「4コママンガでわかる 日進市自治基本条例」を加えてもらった。

委員

資料のうち「4コママンガでわかる 日進市自治基本条例」については、項目ごとに分かれていて4コママンガで説明しており、分かりやすい構成になっている。これを中標津町バージョンにしようとする時、誰がテーマごとに構成を考えるのが課題になると考える。その流れができた段階で、予算をお願いするということになるのでは。

日進市は、ストーリーの発案者が4コママンガの構成を考えているようだ。これは、一人で進めるのは難しい。

東田ファシリテーター

部長は、前回「予算は任せてください。」と言ってくれたが、それはどの程度のイメージなのか。

事務局

過度な期待を集めてしまったようで、すみません。

著名な漫画家に依頼するという事ではなく、絵心のある方に描いていただき、謝礼程度でいいのかなというイメージでした。

<※マンガ作成にあたって、どのように進めて行くのか、ワーキンググループを構成するのか、何を伝えるのか、町内に絵心のある人物がいるのかどうか等について検討>

委員

広報誌に自治基本条例のコーナーをもらい、12ヶ月分のテーマを決めて1冊にするというのはいかが。

東田ファシリテーター

町内会の部分は、確実にテーマの一つに入れるとして、残りの11のテーマをどうするか。

また、町内のイラストやマンガを描ける人の情報等について、3月開催の3回目会議の中で話し合おうこととする。

(4) 中標津町の町民ファシリテーター登録制度について

(5) 町民ファシリテーターのお試し参加について

<※本間会長より資料2-1、資料2-2の説明、委員の意見交換>

東田ファシリテーター

町民ファシリテーター登録に係る制度設計を先に作らなければならないが、これは非常に難しく、3年から4年かけて話し合っていければいいのでは。

まず、牧之原市などファシリテーター登録制度の先進市町村の例で、例えばお金の面、登録の仕方、どのような人がどのように使うのかなどの項目を一覧表して、そこから中標津町ではどうするかを新年度に話し合うこととする。それら項目の一覧表のベースとなるものについては、東田（ファシリテーター）と本間会長で作る。

町民ファシリテーターのお試し参加については、この制度設計をしてから検討することとする。

なお、これらについては、1月30日に東田（ファシリテーター）が別件で中標津町に来る用事があるので、N-CAN代表でもある本間会長及び事務局と打合せをする時間をとり、実際にN-CANからお試し参加を是非してみたいという希望者がいるのかも含め、その中で話し合うこととする。

(6) その他

東田ファシリテーター

次回の自治推進会議の開催日程について、3月27日（月）か3月28日（火）いずれかの
日で設定していただきたい。 ⇒ **3月28日（火）午後7時開催に決定**

事務局

次年度の予算は、例年12月上旬に要求することになっており、この関係から新しいこと
をするために費用が必要になるという場合には、10月か11月までに事務局が把握していなけ
ればなりませんので、ご承知おき願いたい。

また、中標津町総合戦略推進委員会委員を編成する上で、中標津町自治推進会議から1名
推薦するよう求められ、本来はこの会議で話し合って推薦いただきたかったのですが、報告期
限があったこと、従前は前会長であった佐々木優さんが担っていたこと、現会長が忙しい身で
ありながらも意欲を示していただいたことなどから、副会長の二人の合意を得たうえで本間会
長を推薦した。ついては、本件について追認いただきたい。 ⇒ **承認**

東田ファシリテーター

今日参加いただいたオブザーバーや傍聴者の皆さんに感想を聞かせていただく。

神原オブザーバー

最初の紹介にあったが、私が研究員として所属している「公共政策研究所」の水澤理事長
は中標津町自治基本条例策定時に関わっていたことから、今年の4月に中標津町に赴任後に、
町には自治推進会議がある旨話をしたところ、水澤理事長は「自治基本条例を作ってそれっ
きりではなく、継続して動かしていくために検討されていることがうれしい。そのような活
動が、今後も長く続いて欲しい」と喜んでいたので、この場をお借りしてその旨お伝える。

今日の会議ではファシリテーターについての議題が多くなっていたが、地域を活性化して
いくためにはそのような人が大事になってくる。

お試し参加の話もあったが、まだ認知度が低いファシリテーター制度を普及していくため
には、エコ製品の導入普及策などに見られるように、公共調達的手法を初期に取り入れること
も考えられる。役場内の色々な組織で抱えているような団体運営の在り方など、答えのない
部分について検討を進めていく際に、ファシリテーターを活用することは有効だと思う。

傍聴人

ファシリテーターがいると安心感がある。逆にファシリテーターがいない会議でモンモン
とするシーンがあったりする。誰でもできることではないですが、ステップアップできたら
いいと思う。

傍聴人

会議が、なごやかでリラックスな感じで進められていたのがよかった。ファシリテーター
については、委員の意見にあったように、何年かかけて我々もステップアップしていければ
いいのかなと思った。

傍聴人

このような機会をもっと増やして欲しい。ファシリテーターは、それぞれキャラがあるので、合う会議合わない会議があると思うので、会議の内容にもよるのかなあと思った。

傍聴人

私は中標津町自治基本条例制定に向け最初に携わった者です。その後、この会議が続いていて、ステップアップを考える会議になっていることをすごいと感心している。

東田ファシリテーターのファシリテーションは、時間管理、会議の進行、ライトワークのすべてを一人で担当しているが、これを時間管理する担当、会議の進行担当、ライトワーク担当というように役割を分担したチームファシリテーターを検討して欲しいと思った。

- 委嘱期間中に組織の役が外れても原則5年間継続する
- 学生(高校生)の参加について
 - ・NoMapsに事情を聴いてくる
 - ・質問事項を、次回まで各自考えてくる
- 漫画制作について
 - ・広報誌に自治基本条例のコーナーをもらい 12ヶ月分のテーマを決めて1冊にする
- 中標津町の町民ファシリテーター登録制度及び町民ファシリテーターのお試し参加については継続審議とする
- 中標津町総合戦略推進委員会委員の委員として、本間会長を推薦する ⇒ 承認



次回(第3回)会議日程

日時 令和5年3月28日(火)午後7時から
場所 役場 3階 301会議室

閉 会